

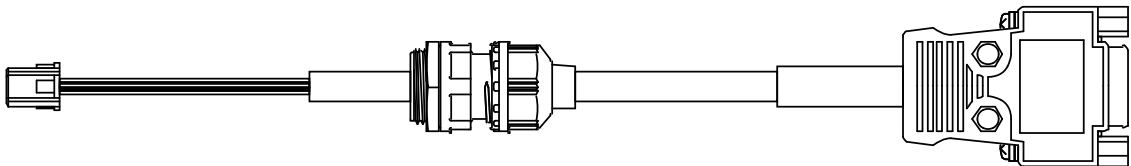
圧力計測ユニット MPS01A 用

RS485 接続ケーブル

WCL0001A N-MPS01

取扱説明書

このたびは、双葉電子工業の製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
取扱説明書に説明されている以外の方法ではお使いにならないでください。



本製品の一部または全部を無断で複写・複製することを禁止します。
本製品は双葉電子工業株式会社の著作物であり、その著作権は双葉電子工業株式会社に帰属します。
取扱説明書の内容は、予告なく変更することがあります。

目次

安全上のご注意	1
1. 寸法/各部名称	2
2. Dsub コネクタピンアサイン	2
3. 接続方法	3
4. USBドライバのインストール	5

注意) 別売りの RS485 変換ケーブル[PC 接続用]をご利用時にインストールが必要となります。

安全上のご注意 (ご使用前に必ずお読みください)

■ ご使用の前に

ご使用前に、この「安全上のご注意」と取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつでもご利用いただけるよう、大切に保管してください。

ご使用に際しては、下記の安全注意事項を必ずお守りください。

なお、これらの注意に反したご使用により生じた傷害につきましては、双葉電子工業(株)は責任と保証を負いかねます。

■ この「安全上のご注意」には、安全にご使用していただくために、下記警告表示が使用されています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ 製品構成

RS485 接続ケーブル(WCL0001A N-MPS01)には以下のものが含まれています。

- | | |
|---------------|-----|
| ①RS485 接続ケーブル | 1 本 |
| ②ソフトインストール CD | 1 枚 |
| ③取扱説明書 | 1 部 |

■ 用途

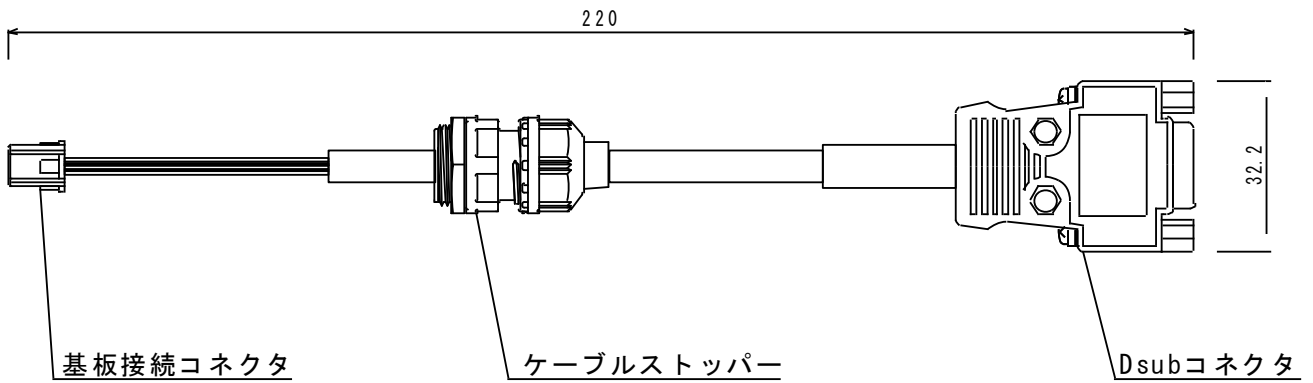
本体から PC または汎用プログラマブルコントローラ(PLC)への RS485 通信規格の接続を可能にし、計測データの取り込みや設定条件の書き込みが行えます。

但し、PC、PLC それぞれ別売りの専用変換ケーブルが必要となります。

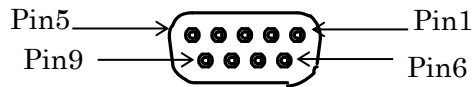
〈別売り品〉

製品名	注文品名	価格(税抜)
RS485 変換ケーブル[PC 接続用] (1m)	WCL0010B N-MPS01	8,000 円
RS485 変換ケーブル[PLC 接続用] (1m)	WCL0010C N-MPS01	2,000 円

1.寸法/各部名称



2.Dsub コネクタ ピンアサイン



ピン	信号名
1	GND
2	NC
3	NC
4	RS485(+)
5	RS485(-)
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC

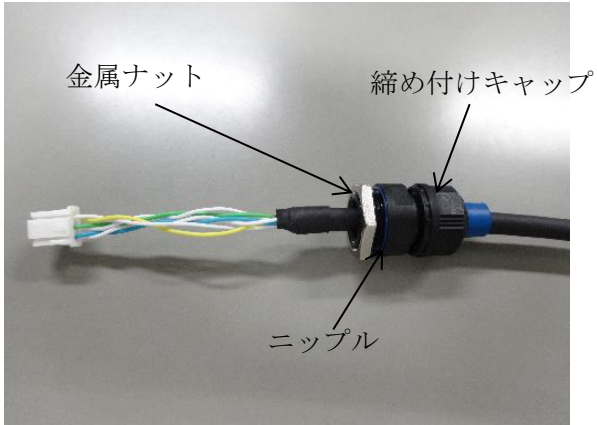
3. 接続方法



注意

取り付け作業は必ず電源を外してから実施して下さい。

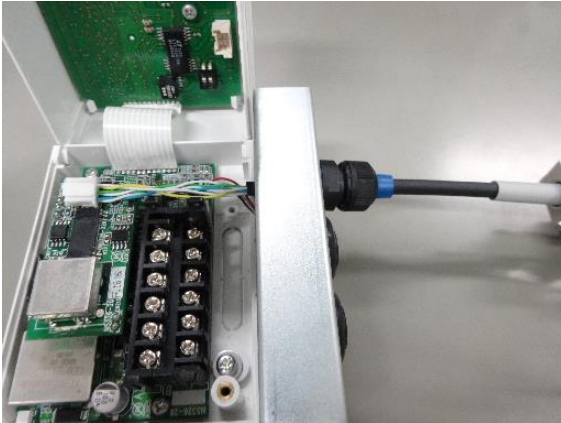
① 金属ナットを緩めて外します。



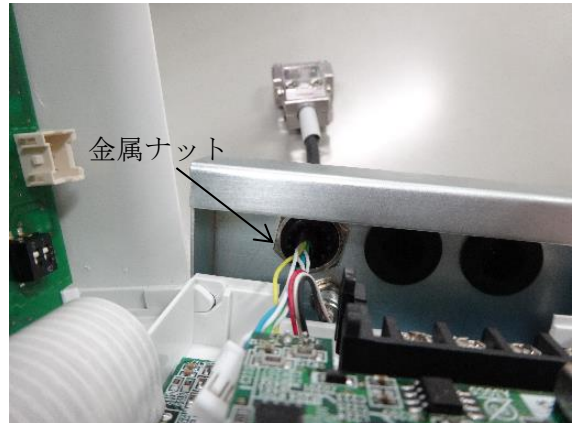
② 本体のグロメット(黒)を外します。



③ ケーブルを通します。



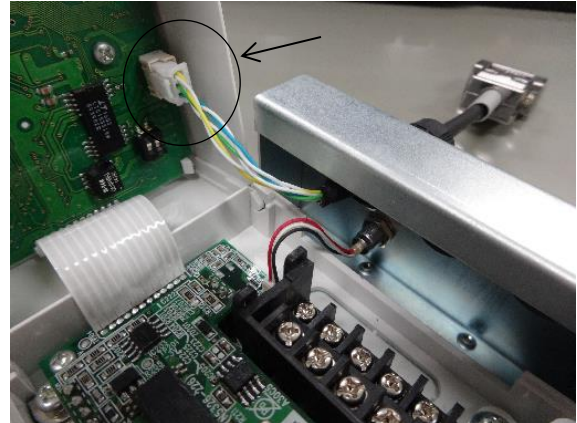
④ 金属ナットを入れて締め付けます。



⑤ 締め付けキャップを緩めてケーブルが自由に動くようにします。



⑥ 扉側の基板にコネクタを差し込み、ケーブルの長さを調整します。



⑦締め付けキャップを再度締め付けます。



注意

蓋を閉める際には、ケーブルの挟み込みに注意して下さい。

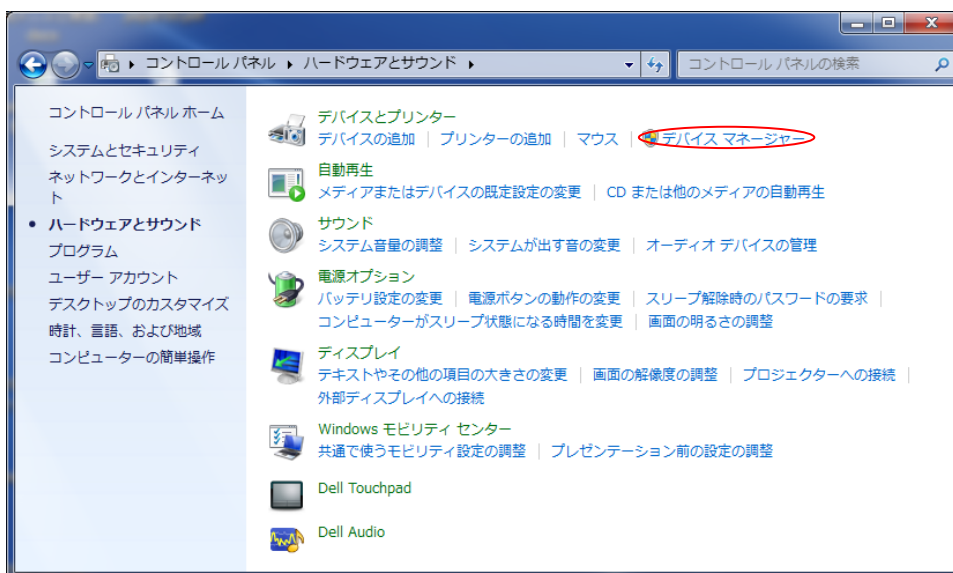
4. USB ドライバのインストール

4-1. Windows 7

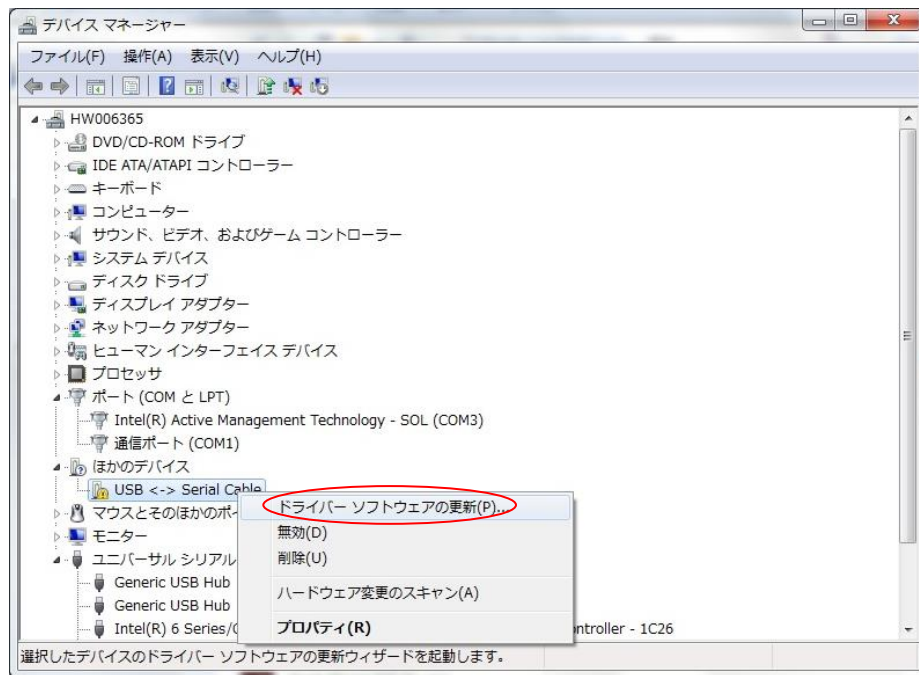
- ① 添付のドライバソフト CD をパソコンの CD-R 読み取り可能なドライブにセットします。
- ② RS485 変換ケーブル(PC 接続用)【WCL0010B N-MPS01】とパソコンを接続します。
- ③ コントロールパネルを開き、「ハードウェアとサウンド」を選択します。



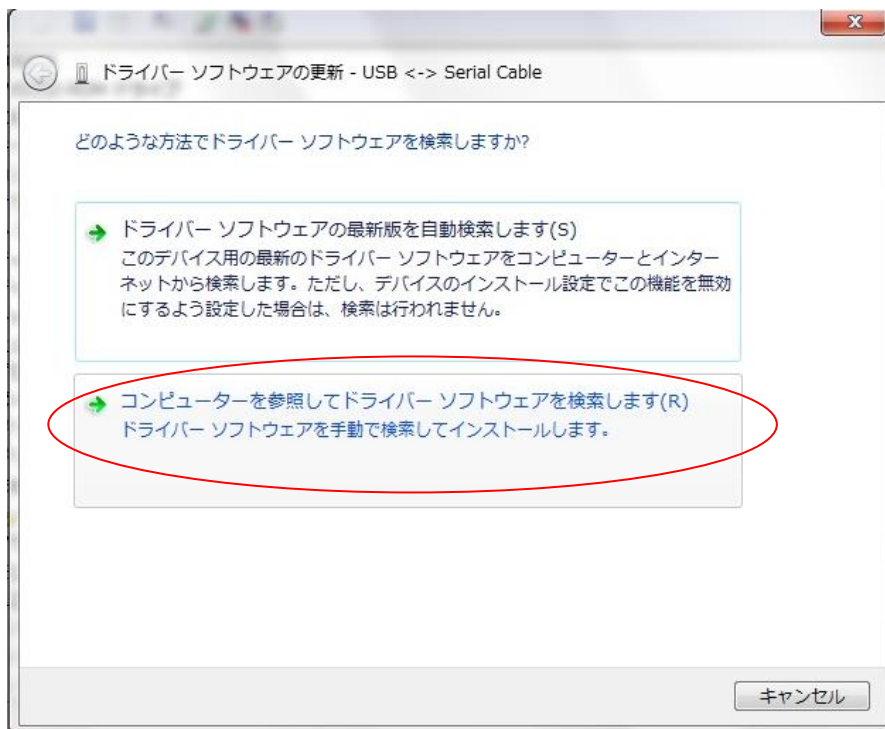
- ④ 「デバイスマネージャ」を選択します。



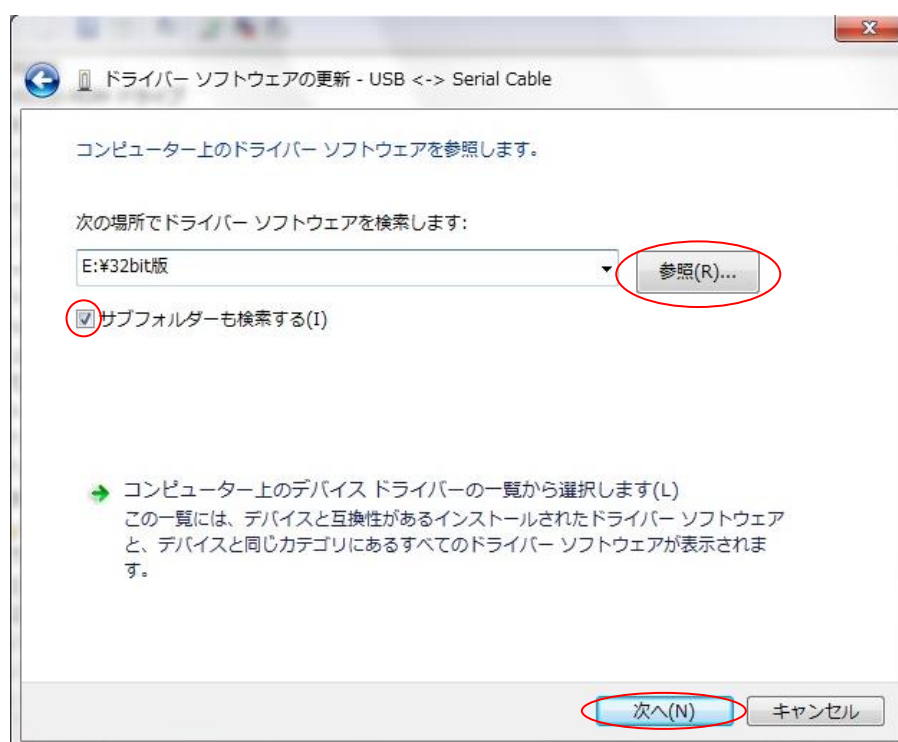
- ⑤ ほかのデバイスにある USB<->Serial Cable を右クリックし、「ドライバーソフトウェアの更新(P)」を選択します。



- ⑥ コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します。

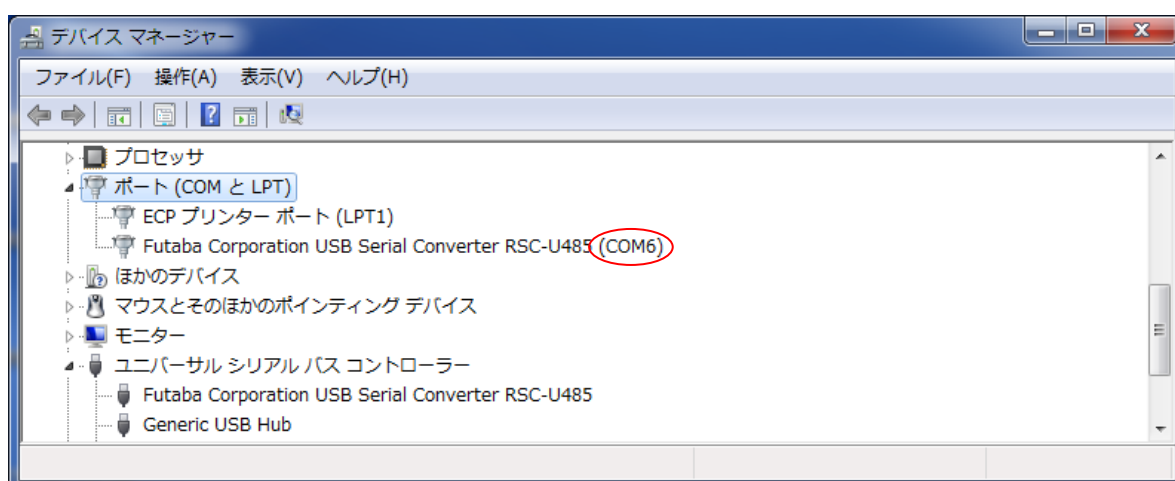


- ⑦ 参照で PC に合わせ 32bit 版か 64bit 版を指定します。
サブフォルダーも検索するにチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



ここまでの操作で USB ドライバのインストールは終了です。続いて疑似 COM ドライバのインストールを行います。前ページ同様の操作を行い、疑似 COM ドライバのインストールも完了させます。

- ⑧ ドライバが正しくインストールされ RSC-U485 が正しく認識されると「デバイスマネージャ」より仮想 COM ポートの割り当てが認識されます。



上図の画面では、COM1, COM2 が物理的に存在し、COM6 に仮想 COM ポートが割り当てられています。

双葉電子工業株式会社 <http://www.futaba.co.jp>

[本製品に関するお問い合わせ](#)

〒299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080 双葉電子工業(株) 精機事業センター MMS 係
TEL. 0475-32-6358(代) FAX. 0475-30-1076

仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

MPS01A-2012W-B2J